

令和 7 年 5 月 9 日

タイムズグループ

(代表：タイムズ24株式会社)

令和 6 年度 事業報告（京都駅八条口貸切バス乗降場等）について

京都駅八条口貸切バス乗降場等の管理に関する協定書第 5 条に基づき、下記のとおり報告いたします。

1 施設概要

名 称	京都駅八条口貸切バス乗降場 京都駅八条口貸切バス臨時降車場
所 在 地	京都市南区東九条西山王町 3 2 番地 京都市南区東九条室町 4 9 番地
設 置 年 月	平成 2 9 年 7 月
利用料金制度	有
設 置 根 拠	京都駅八条口旅客自動車待機場等条例
設 置 目 的	京都駅八条口の周辺の道路における安全かつ円滑な交通の確保を目的に、予約管理や貸切バス配車システムを運用するに当たり、旅客自動車を利用する旅客の乗降の用に供するため
施設の概要	貸切バス乗降場 1 2 バース 敷地面積：約 2,0 1 0 m ² 供用時間 2 4 時間

2 指定管理者

名 称	タイムズグループ（代表団体：タイムズ24株式会社）
所 在 地	東京都品川区西五反田二丁目 2 0 番 4 号
指定期間	令和 3 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 3 1 日

3 業務運営状況

(1) 事業概要

① 施設の管理運営

- ・統括業務（窓口・管理運営統括・改善企画と立案・経理関係等）
- ・運営管理業務（乗降場統括管理責任・機器定期保守点検・売上金回収等）
- ・コールセンター業務（利用者窓口業務等）
- ・維持管理等（日常点検・施設修繕・トイレ清掃・トラブル対応等）
- ・常駐係員配置（繁忙期・通常期）

② 事業実施

- ・出入口ゲート機器、場内事前精算機の維持管理（オンラインシステムによる監視含む）
- ・出入口のE T Cアンテナによる車載器搭載車両の入出庫管理
- ・バス予約システムの導入（予約可能時間 6 時～18 時）
 - ①八条口バス乗降場、②東本願寺前市民緑地、③八条口臨時降車場
 - ※②③は繁忙期となる 5 月、6 月のみ予約
- ・デジタルサイネージによる予約状況の配信
- ・監視カメラ設置（場内監視、安全確認）
- ・常駐係員のタブレットで予約車両の入庫管理

③ サービス提供状況

- ・令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日

【通常期】3 名体制

責任者：1 名（8：00～17：30）

副責任者：1 名（8：00～17：30）

一般：1 名（6：00～18：00）

【繁忙期】4 名体制

責任者：1 名（8：00～17：30）

副責任者：1 名（8：00～17：30）

一般：2 名（6：00～15：00、9：00～18：00）

【繁忙期（5 月～6 月）】6 名体制

責任者：1 名（8：00～17：30）

副責任者：1 名（8：00～17：30）

一般：4 名（6：00～15：00 1 名、7：30～16：30 1 名、9：00～18：00 2 名）

※ 貸切バス配車システム運用・臨時降車場運用実施の場合

④ 市内中小企業への発注に対する考え方

- ・日常トイレ清掃業務、緊急時の警備対応等の業務について、市内中小企業へ発注。
- ・新たな業務等を検討する場合は、市内中小企業への委託を前提に検討。

施設の利用状況

① 利用台数

年 度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
目 標 値	88,060 台	101,500 台	106,140 台	106,140 台
実 績 値	40,281 台	69,371 台	85,376 台	90,799 台
対前年度比	—	172.2%	123.1%	106.4%
目標達成度	45.7%	68.3%	80.4%	85.5%

② 稼働率

年 度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
目 標 値	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
実 績 値	26.7%	35.3%	35.5%	37.3%
対前年度比	—	132.1%	100.6%	105.0%
目標達成度	53.5%	70.6%	71.1%	74.6%

(2) 指定管理業務の収支状況

① 収入状況

(円)

年 度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
委 託 料	14,875,211	—	—	—
利 用 料 金	20,891,000	52,728,000	66,815,000	73,350,000
収 入 計	35,766,211	52,728,000	66,815,000	73,350,000
対前年度比	—	147.4%	126.7%	109.8%

② 支出状況

(円)

年 度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
人 件 費	9,754,580	14,570,036	21,690,100	23,409,757
事 業 費	11,171,990	9,736,502	8,566,249	8,385,380
委 託 費	4,064,159	4,834,819	5,760,128	5,783,558
小額修繕費	0	0	0	0
その他	8,596,800	10,588,914	12,075,057	13,521,733
支 出 計	33,587,529	39,730,271	48,091,534	51,100,428
対前年度比	—	118.3%	121.0%	106.3%

③ 収支

(円)

年 度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
収 支	2,178,682	12,997,729	18,723,466	22,249,572

4 施設利用者の満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

バス乗降場の運営及びバス予約サービスの利用について、日々の運用の中で、主要バス会社、利用頻度の高い旅行会社、夜間乗合バスの組合等へのヒアリングを行った。

(2) 利用者満足度把握の結果

【主なご意見】

- ・精算機の新紙幣対応を早期実施して欲しい。
- ・乗降場内のラインが薄いため停める場所（車枠）が分かりにくい。
- ・降車利用でも予約したい。
- ・繁忙期において降車できる場所を設けて欲しい。また利用に関して車椅子の利用など加味して対応して欲しい。
- ・臨時降車場において、高額紙幣も使える様にして欲しい。

(3) 意見等への対応状況

- ・精算機器の改修を行い、新紙幣の利用を可能とした。
- ・乗降場内の薄れていた車枠等のラインの書き直しを行った。（令和7年5月）
- ・5月6月の繁忙期をはじめとした貸切バス乗降場混雑時には、臨時降車場において適宜降車受け入れを実施し、周辺の交通渋滞等緩和に貢献した。
- ・5月6月の繁忙期に関しては混雑する時間帯の予約台数や利用ニーズを確認の上、入庫のタイミングや駐車位置等を調整し、スムーズな利用ができるよう取り組んだ。
- ・乗降場でのお声がけを徹底することで、乗降場の滞留による混雑解消に努めた。
- ・新幹線の自然災害などが起因する遅延など不測の事態発生の際は京都市と連携し臨時降車場の開放等、早急な対応を考案し実施した。
- ・臨時降車場での高額紙幣の使用に関しては精算機器の載替が必要となるため、直近での対応は困難である。

5 業務評価

(1) 指定管理者（自己評価）

- ・自然災害等、不測の事態発生時も京都市と連携の上対応を行なった。
- ・利用台数については、前年対比 106.4%と増加傾向ではあるが、目標に対し 85.5%となり、利用料金収入は 73,350,000 円（前年対比 109.8%）となった。
今後は貸切バス乗降場における入出庫の利便性向上も見据え、機器入替など、京都市と連携し、安全面は考慮の上、今まで以上にスムーズな運用を検討する。
- ・利用者の利便性向上を鑑み、適時臨時降車場の開放を行った事で周辺渋滞緩和及び事故防止に貢献できたものとする。